

日本応用地質学会
岩盤分類再評価研究小委員会（第二期）

第 14 回議事録

平成 24 年 1 月 16 日

1. 日 時：平成 24 年 1 月 11 日（水） 15:00～17:00
2. 場 所：応用地質学会事務局
3. 出席者：平野、遠藤、小熊、桑原、堀川、村上、山本、綿谷、江口（敬称略）
計 10 名
4. 資 料：
 - ・議事次第
 - ・資料 14-1 委員名簿（1 月 6 日時点修正版）
 - ・資料 14-2 第 13 回議事録（案）
 - ・資料 14-3-1 最近の小委員会活動状況
 - ・資料 14-3-2 平成 23 年第 5 回研究企画委員会メモ
（岩盤分類再評価研究小委員会に係わる部分）
 - ・資料 14-3-3 技術書作成工程案（2011 年 11 月 28 日版）
 - ・資料 14-3-4 技術書作成における作業および分担案（2011 年 11 月 28 日版）
 - ・資料 14-3-5 技術書出版に係る予算について（H23. 11. 02 試算）
 - ・資料 14-4-1 技術書作成における作業および分担案（当面の詳細版）
 - ・資料 14-4-2 12 章の目次および分担案
 - ・資料 14-5 技術書出版に係る予算について（修正版）（H24. 1. 10 修正）
 - ・資料 14-6 技術書目次構成（2012. 01. 11 現在）
5. 議 事：
 - 5-1 委員名簿の確認
平野委員長、小熊委員、村上委員および江口の名簿に変更があった。
 - 5-2 前回議事録の確認
内容については了承された。
 - 5-3 ここ 1 年ほどの経緯について
前回委員会より 1 年ほど経過していたため、幹事よりこの 1 年ほどの状況説明があった。
経緯について特段の議論・質問はなかった。
 - 5-4 今後の作業内容、工程について
資料 14-3-3、資料 14-3-4、資料 14-4-1、資料 14-4-2 に基づき、全体工程および今後の当面の作業について議論を行った。議論の内容は以下の通り。

- ・ 工程案については概ね幹事案とする。
- ・ 編集・出版 WG は、2 月中旬までに自分の担当する章について B. 内容調整の内①通読し、基本姿勢、記載内容の正確性、論理展開、図表の有無、必要語句のピックアップの観点で文章の確認、修正を行う。修正は各自で適切と考える文章に直し、案として幹事に提案する。
- ・ 著作権 WG も全文確認の際、上記の観点でのチェックを行う。
- ・ また、全文確認作業は研究企画委員会の委員にも行ってもらう。
- ・ これらの修正案のとりまとめは幹事が行い、2 月中に修正した技術書案を作成し、委員に報告する。また、3 月 23 日の理事会ではこの技術書案をベースに説明する。
- ・ 3 月 23 日の理事会で報告する技術書案以外の資料についても幹事が作成する。
- ・ 技術書に掲載する現場の許可については、正式文書は応用地質学会から出してもらうよう働きかけることとする。ただし、事前の掲載許可の連絡調整や担当者の連絡先の確認については各執筆者が行う。
- ・ 第 12 章の分担案についても幹事案の通りとする。
- ・ 早いうちに主な出版社と連絡を取り、出版の可否についての打診を行う。

5-5 予算案について

資料 14-5 に基づき、出版に係わる予算として研究企画委員会に挙げる案について議論を行った。議論の内容は以下の通り。

- ・ 初版 500 冊の設定は妥当と思われる（出版社がそのような少量印刷を引き受けるかどうかは確認が必要と思われる）。
- ・ 最初に研究企画委員会に挙げる案としては幹事案で了承する。

5-6 技術書の内容について

現在の技術書案に基づき内容等について議論を行った。議論の内容は以下の通り。

- ・ 東日本大震災の影響を受けて 8 章（原子力基礎）の掲載そのものについて議論したが、①東日本大震災では基礎そのものに問題は起きていないこと、公表資料に基づいて淡々とまとめていることから、8 章については章を残すこととした。しかし、そもそも原子力基礎についてかかわっている人が少なく、建設についても将来性が少ないことから、今後ページ数を減らすことも検討することとした。
- ・ 1～4 編の口絵写真とその解説については、その編に適したものを委員で提案することとした。
- ・ さくいんの編集については、最終的には出版前にまとめるものの、編集、査読などの時期に合わせ段階的に取りまとめることとした。

5-7 次回の小委員会開催時期について

編集・出版 WG による編集作業が一段落し、編集された技術書が上がってくる 6 月頃をめどに開催することとした。ただし、3 月の理事会等の結果次第では開催時期を早めることも検討することとした。

以上